

平成 24 年度第 5 回修習セミナー(午前の部) 報告

中国本部修習技術者支援委員会

委員 森保 直也

広島県 建設部門



平成 24 年 11 月 3 日 (土) に第 3 ウエノヤビル 8 階会議室において第 5 回修習セミナー(午前の部)を開催し、12 名(講師及び委員 8 名含む)の方にご参加いただきました。

内容は「対人折衝能力開発」と題しまして以下のプログラムを実施しました。

9:00~10:00

「ギャップ折衝・トラブル折衝の要領」

山下 祐一氏(建設・応用理学部門)

これから求められる技術者像というものを提示しながら、そうなるために必要な能力の中でも特に対人能力というものに焦点を当てて、その必要性について具体的に説明していただきました。



【講演の様子】

■講演内容要約

これからの技術者は、単なるコミュニケーション能力ではなく、新しい需要を創造できる提案力や問題が発生した時の解決能力といった相手との折衝能力が強く求められます。そうした能力を用いてクライアントの中にある本当のニーズ(ウォンツ)を引き出していくことが重要となってきます。

そういう能力を効率よく学習していくには日々の業務だけでは不十分で、客観的な視点からのアプローチが必要です。

今日のセミナーでは実際の折衝現場を想定したロールプレイングを実施し、グループ討議やビデオ撮影といった手法を用いながら、皆さんの折衝能力を客観的に評価していくことを試みます。

10:00~12:00

対人折衝能力ロールプレイング

課題設定・確認、ロールプレイング、グループ討議・発表、再映、講師等意見

受講者の用意してきたギャップ事例やトラブル事例をもとに、3チームに分かれてロールプレイングを実施していただきました。



【ロールプレイングの様子】

ビデオ撮影や自分の対人折衝を他人に見られているということもあり、ロールプレイング中は多少の緊張感がありましたが、受講者委員ともにほぼ初めての体験だったにもかかわらず、プログラムの意図を汲んだロールプレイングが実施できことは、改めて受講者の意識の高さを感じることができました。

今回のようなロールプレイングは初めての試みでしたが、受講者の方も普段このような体験をする機会もなかなかないと思うので、継続してこういう場を提供できればと考えております。

ご参加いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。